統成の下に中部監初の西部が開催

主解各面工物議所の頭及び打場開

に関する其體的策如何」の凝固を

北水洋に根據地建設

海軍案を披瀝

米政府の技術的援助を要請

意見を聴取

『そ、そんだ、そんだ事はおえの

想事れの別れ……岩岡東 南 春…須藤重

郎

2

捕

勢

んだ、他には何を入れた。『こを入れた。『ことんである手に

よ、だがおま

な事をいつて らないよ、

は既に行城職制のみならず一般取し儲職したがこれが敗善を闘るに

における第一線行政事務刷新に購

るやうな脚をして、脚か何がして、脚か何の間部に向

吉田絃

加能作次郎

韻子

えがよい、

明いて肥つた蜱

開陳が行はれるものである。荷は

概長から貧困関係事項に配い

考へねばならぬ

獨逸を訪問

一首相が

天地玄黃

經要院の構成年を盛大となる」「彼の比那の事を云っただけちゃ 『らんこ DK飲後開始十周年を祝ふ。

を交へて重要強敵する後途を除めたと既へられる、ムラフリーニ首相は二十二、三南日オーストリア歐局の緊迫化に襲み、過去十萬年『國外不出』の総則を破り、意とドイツを訪問、ヒトラー勢新と監の「ロコマ十五日間間」 ムワソリーニ首相は認正関際情勢の極渡、鉱中スペイン脚跳を禁るサーロアバ 云はれるが、イタリー政界の消息通ば十五日ムツソリーニ首相のドイツ訪問は殆ど確實だと言明した。 **資相シュシュニック博士、シュミット外相と館談を行び述くも、十四日にはローマを出発する段定と**

國との關係の調整「ベルリン、ローマ福祉」を選化して國際政局に遵する對策を協議し、

和を強調。呼ぶのもいゝが實行

別

『年代の一時半自相官職に開館さ (京都で各名間の連絡をはかるべき) 「東京市勘 十五日の定例大監師」 線すること、なり膜に今後共大臣

直が本年度で終了するから、これが本年度で終了するから、こ

分京屋殿着列車で郷田したが、土財政局長は土五日午後三時二十八郎政局長は土五日午後三時二十八郎府委員として東上申であつた牌

こに壁を撫でつけて龍巌の切へ来姓は出て社つた。阿彪はそこそ 米たら騰光でも嵌んで、一覧でれでは在つて取るからね、

々若











領表が華麗なる青春

水吉 木

井伊 上馬 康文 鵜平

33 文雄

虹兒

東京の大阪(小説) 一版 東京の大阪(小説) 一版 東京の大陸(小説) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(小) 一成 東京の大陸(藤 岡 神 大 楢 岡 田 山 鹿 崎 田 祖 正 福 韻 丹 郞

實話スリッ

野邊の雛菊織 学女バンテーラ(町でか)

お準備が出来

金がありまうだといつたであ、やつて、一人で魘癖の略を吹へてぬの財狮は、かつぶくがよくつ「へ往つた。原七は小喰を鯉の宝へを放けた。原七は小喰を鯉の宝へをがい」「「関大」とれたの形での道七の筆

ら、そんな事をいつて 阿逊は売としながら入つて誰七ら、さらいつたのだこ 『毎ちかねた、さあ、どうぞこ』

られては、このへ低い女が、そ まして、申わけ 災を撫でつけた ノ誌雑春靑るるふあに神精の邁高きし

綠豐綠 二振本東 八姓東京 〇東宝市 古京町日

寶

圖

書 目

議で大體草案承認

企書廳

の設置

脱すことくなつた、同ほ一行は野老者二百解名を指符して戦を節を

五日京城が内のタクシー料金改正を道保安觀に申請したが、それによると現在ニキロを五十銭、 上は八百米毎に十錢増しになつてゐるのを、二キロ迄を十錢鉱上げして六十錢、それ以上は三百米を 東山上は一般大衆に医物する所が大きいので十分調査と設けたより概止むと称よい国台でな ないといふのだが、保安觀では 何分現代人の / 足 / になって みる / タ

されるのでは楔まるかいと反動の実験が強く、目下離長されてある心臓性血を治局に対し異重してある(本語の寒空に呼上とたるので、双症のやうに、卒地なし、で長い時間等たされた上に高い料金を搬けたりで、その燃も一郎 戦闘線の利用器には非貨上の砲上げになつて相當非鑑があつたが、今回の船上げかりで、その燃も一郎 戦闘線の利用器には非貨上の砲上げになって相當非鑑があつたが、今回の船上げかりで、その燃も一郎 戦闘線の利用器には非貨上の砲上げになっては昨年五月現在の料金に欧正されたば、タシーが撤近半島の好景域の渡に深り好視時代を反映して《差異なし》の異常を見せてある有機なのタクシーが撤近半島の好景域の渡に深り好視時代を反映して《差異なりの異常を見せてある有機なのタクシーが撤近半島の好景域の渡に深り好視時代を反映して《差異なりの異常を見せてある

石川保安課長談

近江聖人と尊徳翁を

經學院に合祀

個数学者血に出版百十二人を一発気じてのる経典院では発生

般の自由参拝も許される

帯神運動の强調、膨揚をはかは四野人打つて一丸となつた

ついて関るべきことを避けた誤で、決定さるべきことで軽々に数戦については総整質局の制度を得つて

一つの別のでは、「は、」、「は、」、「は、「は、」のである。「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、」のでは、「は、

した二萬川の姿が堪れ以ところか てゐるので、更に同器物が陣では一

ら或は石四名の中外部との「破資が一各者に投資方を順ひ出」

三驛入場料值上

豕に開放し、自由意料を許す は四郎人打つて一丸となった。

文部や集會所に對しては

當分の間その動向を靜觀

スケッチ底行をする筈であるか企削山、平脚、扶除、腹切の

一能が調を行つてゐるが、有四名は

道當局は許可せぬ方針

取締 に出頭中、保地は都織及び網球三百 中、同席した同可金銭取り、10年15年といっました。 は野鹿のシャフトを搭載と乗って、大野鹿に鬼がされたが野児は突動と共に同可金銭取り、十五日午後零時半城中が時 「宝山、豊富・一六日午前三時半)」「伊を貢は生態是した。 被で落は射がで配置、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が変わるが、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が上げ、大野鹿に腹が大野鹿になって、大野鹿に腹が大野鹿にない、大野鹿に腹が大野鹿に腹が大野鹿に腹が大野鹿にない、大野鹿にはない、大野鹿になり、大野鹿にない、大野鹿にない、大野鹿にない、大野鹿にない、大野鹿にない、大野鹿に

龍直丸へ一〇トンンで長崎陳到馬沖 (中) 第二条山外加州田道区分 危く救助さる 成六名を指揮して醍動機器

居酒屋で刄傷

龍趙丸漂流し

藤田畵伯夫妻

握の半島に憧れた瞬田嗣石間伯は

小松綠氏並二某氏秘藏 高麗、李朝、陶器 數音點 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見 四月十六、十七日兩日下見

首

優旗會旗旗























やつと笑つた昌慶苑の櫻(けふ八分咲き)

公国の信徒の動向を寄還する味

して鎌さへき所を先はしめるとを、際の態度を持することになった。 一世の大学教権総がに関めるは着を、第三して近年するやうが分の間が、所に関して歌雄戦やを聴する時は、特別を受けれやうな正しい説別院

道を辿るか既は自成自修して他の許を並被し数勝目身が自然消滅の

司禄士銭に引上げ、一方阡紫瀬「行っさとたつた、廿一日は石堂」等の人場が金を京城、大郎、平一極前に廿二一廿二日で陳日年出 郑を三千年一等八十四、二番五 然の人場対金を京城、大郎、平城在五錢の元山、咸奥、街義州

京城不阿署智内の署季衡生指開 本町署管內大掃除

みよい、

る水楽

一個除は甘一、廿二月の闸日原里 の大通りを境界に西部金部、

天氣豫報(十七日) 度(和東京の風) 右回 右回 精強の風いは明明を

選北 有

六分引下げることに決定した。

十四、三等三十七回をそれと

言虫紀滅

及したところ十六日朝になつてや「技人門の泥榴だけに八月の体験中 ○は西大門器で大棚とにらんで近一塁代足した自由したがさすがに埋いた自動東海道生む象数板三ので供数三十八枚金銀六百卅回の **卅五圓を縫んで出るところを音監 | 祭校へは六回目に入つて捕つたも** 校が観客に使人生徳の塚金ばかり | 使人し城電ばかりを取る場形が眺眺、去る十三日庭城製化場門||壊||子夢道||密校など一校に三回つつ

と日を割り金英級とは逐赤な場 は泥搾頭政事体楽したことを自己

で京城生れ前科三四征弘楽(き)で

動めに用売しに重要を、東大門な「客で投資中 の天地が欲しいと十五月夜家出る がある。 大池が流の養女類級娘だった自由

東光拳闘俱樂部創立記念 明十七日(土) 午後七時

本社後援

仁川の潮時

情婦を連れて

干滿潮麵

息のたんせきの

たんせきゅ

全國藥店に

金金金 - 五 三

圆线线

十十類

せったんせき の

夜櫻心待機

趣向。禹端に目先ご 變へて の 愈は十八日から

位度を手り陸ばいる待機してある。 地が、既に勝ちせて、文字通りの优か、既に勝ちせて、文字通りの优か、既に勝り、人工光線の投か、投光機、ネ

一萬圓事件の索線

に延び

苑のの呼物

この夜襲は十八一から廿七日まで

物母蔵蟹版の英明さも待ち集れ

7申前を受けた所規制整督では議一ある、同行用召集資金、松寧籍台、力な問題を得るやそのまる取割へ既定収は既報の如く、事攸総生「総書の仕集と聞んで概要を行つて「本際められ、十五日夕方に至り有(既報)東一般行本店談の二萬田「刑取調べた上、事攸は同行内部職」の結果右侵取者に對する瞭疑は金(既報)東一般行本店談の二萬田「刑取調べた上、事攸は同行内部職」の結果右侵取者に對する瞭疑は金 今明日中には全貌判明せん

總發賣二 兀阪 丸東 右篮

製路 樂町 株 式

會 ΨĪ,

糖館の解説によつて誤擬に着守さ」るのでこの疑罪常に異味るそとつ地の繁複古城は十五日かい中域懐 木併併強戦のやうにも記受けられられた大国部大同江西洋特望大准 にすれば祷席戦のやうでもあるが

長も現場に触き酸塩信用にあたつ 五頃であるか父は既に参掘された

末期のものと見られてゐる、立昭でゐる、大姓群代は樂浪中期から るのでこの監非常に興味をそよつ

たが、同古墳は今のところがだ健一つ
か小泉世間
解技も明日にならわ

小泉舘長の指導で

勇躍)

て發掘

輪廓次第に現れ興味湧く

新發見の樂浪古墳

永い間の吸血遂に發覺

開始したが、設計の内容は昨<u>ず低</u>帯人強要珍か食機費金として金寅柱に七百個に通した腐その後金鍍を經過せず投債金も返録 うまし内質は各方面と連絡して女質を含み、昨年十二月単なる情聴のため等を変勢け同様にして立ち去るまで、西司艦に即して色階触窓の取り持ちを樂とし四年節から伊東面中山里の山中に西鴻殿なる怪しげな芸を戦闘として表向さは訴訟に 復元共態名者大人と姉妹聯級の良衆の子女なるに抱らず、鑑査上りの金貞性と思の名コンピとなつて内助の功とつくし、犬ないのに柔を添やし本派に及んだもので有夫婦は十七八年前大正町三丁目北一旅館で続ひ合つたもので女は府内の有力階の 栗を飲けてあたもので、本即科学なる者い保庁長が石川国産党な鯖の変現資金関連に存定中撤はれたものであるが、家主発二重額の経が活制副党総会あれて開催りまたし、解観は団人の高砂町五六金級勢方に貫け、用観らず沈大徳と共に悪の奴殴りを登し、縦牙にかけたものは他へ開建戦は奴の飛ばし、第に部落民の指罪と貢献の山麓に保険を抱べて昨季報を見口した た婦女は百億名。その中間には田舎田の観志りば眺の女あり、年頃女ホリト専婚ある多彩制幅なもので人国題れた山中で情知 男幸気君が追縁の絵仕をして家事を助け、細々の暮しであるにも拘っず、北一旅館時代にも五十餘団の借財を踏り 「指牙にかけたものは他へ関節或は致り飛ばし、姿に部落氏の指頭と真似の山麓に解除を抱へて昨冬春を試い 指すれたが収謝べの結果なくべく大仕事の始を終現の描紙を担て十五日全州等に押念で指すれたが収謝べの結果なくべく大仕事の始を終現の描紙を担て十五日全州等に押念す た二ヶ月除る喰ひ倒しこの間にも芸夜四人の公三十餘名に建し 認識された東大事性に崩壊する見込みで高電常とも連結をとり疑風飛電的に觸像方面の調査を 〈金町柱及同人内線の安定大地は完然郡功村面盟復出崔泰珍の法がにより詐欺の敗が



国高里行移列車が大同江南郡里面 その虚逃走

「総裁」音戦の理監路店所有打選しりて

時期天器では非常サイレ【順天】処蔵寛永の十四

難を発れた、なほトラックはその

一路の被害夥しく 不通個所なほ多數

間り客で

大混雜 關釜連絡船

| 元名地門人が移り大田巻の祭賞念| 「大田」大選都中規國総石里奥邦 | 行候職したが死後三十時間以上を | 歌(こ)は十四月住宅を移職したが 野過してあらむ十歳位の老婆で身| 歌(こ)は十四月住宅を移職したが 東通してあらむ十歳位の老婆で身| 歌(こ)は十四月住宅を移職したが 東通してあらむ十歳位の老婆で身| 小五月朝六時半歌説の職に願って 局へ砂膜上行方磁域中
一直、逆失、一点へ砂膜上行方磁域中
一直、逆失、 れ等後に数大で交通は岩石の財影や山崩、流光、戦は岩石の財影や山崩 る空前外れの範囲は原理を掘び思 は地がして道路の決

畑に老婆の死體

四日夜行便かり復記し十十二百名一航海駅航となった棚釜連続は十

市區(星狀度粉末年)

府職(参山)田上

【釜山】既報、器風雨製氷のため

やつと復航

獵奇の三人心中 自殺幇助か殺人か

【威與】定和國、鑑の人実指心中一系くほはなに遊立威異解院に入院 週间を超え天國一加坂中であるが東村同意にしは退 男の取調べを開始

近にテントを扱つて監視せしめる

一人にのみ服用させて思想的な狂

一班つた野馬の外は極過芒極良好で「身際を威奥製に拘束して心中原因」

の徹底的説明を行ふとになった。

【大田】十二日夜米の隣風雨被歌

進十五日朝は金剛丸が一千七百九 際時列山を奉天まで特に延長

漁夫一名遭難 任总赋郑在勤(监粉保主任

【釜山】脳臓を気遣はす

(日思曾道王大書紀(忠清官選出年) 忠南辭

大田道立断院で手術するととも 顔面其他に軍傷を買ふたの

線路を横切り轢死

【大田】十五日午前十時二十一分

官巡得機の馴係か、走り他立候補

海州一海州郡南祖巴亚四里金國

口論から殺人

日を逐つて濫立し

各地とも激戦豫想

群山の火事

【部刊】去る十四月の慰館物米支(芝加)」と引み取場「野泉一江起の田穴駅が及び超常に 倒潰

船舶の沈沒流失る百餘隻

慶南の被害は意外に増大

のたが、底板は奥紋の係り底後。| も火花を散いす瀬峡が繋がされる | は十四月をもつて一鷹は落を作げなったが、底板は奥紋の係り底後。| も火花を散いす瀬峡が繋がされる | は十四月をもつて一鷹は落を作げ てみたが本事も但宮の職職を後期 五名の立族刑者があり測職を起し 大が本事は定戦)名に對し陸米四 城北里の要進部氏が正式立候帰しもいと代益を切り十一日は順域面 唐津 道郷経風雅は温波即で で見の前の無常様な比較を示した。 経費土元年等氏の出思を見たのみ 中五日は完地都から耐内大正町の

致死被疑者として撤弱せんとした の長男真楠(こ)は去る五日午後 問題から口論を始め個み合ひと 時頃同面徳郷単年に使じしと土 れが因で六月午後十一時途 大田 忠南道師職員の立医師 されてある にダイナマイトの出所其他取割中

若木縣で二二列車から下一死した。

全州 经北道職城立候的法は 火したものと動明した、個擬報は アン待望の登山春季競馬は廿四日 一兩日間に重り西面質別数度馬場で

都別府は、山、海、溪谷、高原を綜合せる

「麥茸トニク」

サ

ビス

際溫泉觀光大博覽會と

御婦人方の血色を良くし、化粧の必 元氣を旺盛にし能力 | 関雄婦、子宮病、養血、雁男少年等に特別らり 等の生ご、五月、神經設 学を増進す

製菓帳担八ヶ所▲船舶端央二〇巻近没八五隻人団流失六町八▲家園設水床上八三戸床下二一戸入道路流失四一ヶ所▲を三名▲直路一五名条行方不明:名▲宮屋の判違八六九は十五日正年宗に判明したものは

意外の歴大を思はしめたが各部では愉美観に對し炊削しそのに及び田畑の流失観水のみでも一千七十町の躍範圍で被響は

道線路も流失

通信や自動車交通は杜絕

順天の被害&甚大

季節外れの天候異態で陽順雨に見郷はれた際間の被

要なし藝者の方職工の方等、夜間業 者の妻弱と肺病を防ぐ 方の早 パーセント 老には

万廿五日より向ふ玉十日間、國際溫泉観光

は、同地の虹心を紹介する意味に於て に比類なき猴母の盟地であるが、今度別

電台を開催することになりました。 しか

御観覚の節は、何空倒武水御愛用下さい

於ては、美人が一選罪トニク」を無料サ

同質内に辿けてある、京城日報社体部

スすることになつてゐまずから、同會切

タミングワヤコール、緩等を配合せるも

トニりは、人器歴群、建美報の有効成分

期中、自居として修修界の利益を博す。 して、美味、遺血、酸含温槽作用を有し

院學博士。武告無代進品

類似品、御注意

定價{五圓八十錢

發賣元 兹诺登取莱株式會社製 选 兹诺登里贝莱特 **賣捌元 (鉄) 木 い** 私班函光化門局二四號

私语函京城局八九號 村 薬 房 村藥

三越、丁子屋、平田外各地有名藥局にて販賣す

と云へば、蝶子さん目角

茂原技師大婦を施

係り仲が良すぎて

寫眞百年記念祭。をうたふ

これを光の作用で作らん。既はカメラ

ルを偲び

世の関連は一個が大はアスファル 異常には脱いて思らないが腹腔解 初の製菓であるといって差支へによったものに変化の投資を開発したものである。その性質が他 何日 新聞 他である。そして其の部別 女いの工作を表したものである。 年祭を花々しく聞ざれて、この光 ける方法に於て少少の差異あるにたから人物は分離 風景観光に 本をして見られて、この光 ける方法に於て少少の差異あるにたから人物は分離 風景観光に 本作のの出土エブスド新たなる もむよう たと、別庭殿を作り上ではアスファルト終光体質が観 何日 新聞 他である。 七日 エブスド 新たなる もむよう だっしいの 生気をない、只有調の復日等に辛 観測を称げたものである。 これまります。 その態度の始出 エブスド 新たなる もむよう だっと 別庭殿を作り上であら、 世界を花々しく聞されて、この光 ける方法に於て少少の差異あるに だから人物は分離 風景観光には脱いて思らないが腹腔解 初の製菓であるといって差支へに といった という はいっと であると 歌音出来る。 その態度の 出来ない、只有調の複音を作りた。 一世 という はいました いっと はいく はいっと はいました いっと はいました いっと はいっと はいました いっと はいました はいまました はいました はいまり はいました はいました はいました はいました はいまり はいまで はいまた はいました はいました はいました はいまりまた はいました はいまりまた はいまりまた はいまりまた は イと命名した。今日ではこれを點

三二一五三二

藤井得三郎商店 藤井得三郎商店

香気更快にて絶跡に制作用なし

東京市神田區暨岛町

The state of the s

MATTERIAL

ノ勤出てつきりへ

MILLIAM

Minimi

ノみ昨身い し 胀

七日午前十時から京城朝日座に開 郎▲六時二五分謀演と朗詠・六時理科物語(果)相提次

てけつドーフトーレ

てけつドーフトーレ

一人今晩のラデオ

竹本奈良梅追善



學教室でこの興味ある問題につい

最近米國ベンシルヴァニア州

番男性を惹きつける衣裳の色は | 白のイヴェングドレスを着用する に限りますゞ

月光・ロマンス・結婚を

ていろいろの質験を行つた所、自 田で赤や青やその他の派手な、一

|テレヴィジョン質用低の鬱か養理||設備についてはマテリアル、テレ

テレビジョン放送局完成|

-巴里に世界一の-

害に「キキ群は避そだちで海がが新らしく同人となつた機野李

それで話といふのは若も大蒜へ 剛の結婚ひで安心してるんだ、 田、高見、僕、まあからいつた

で題信高局ではこれが落成を記念 質解は途よこの六月に落成するの

触版のおすゝめを弘告 程疑例の輩出として龍

たんせき喘息、風邪の

別の油暖が、不治の

尽の世にはなや

引越してしまふので、屋崎土部

大森組をつくりたい、室生、関

縁組でないと幅かきかんもゆう ろこんで『ドドどうも文曜は鎌 りさうにないね」尾崎大いに上

から、日間京柳に開演中(延复は)る高級半神の開盟音解語で登品が本社を訪れた一行)

しようとする今日、三萬ワットを

フオニタク、カンパニーのパリ研

と腕が飛げになって大ホラ吹き

森組が交通に願を出へるのも近

になるから用心してくれ』とい

激量が患よべりで気味に近づいて | の壁破器を受了、エケフェル場階が30世界経大のテレビイジョン数 | 常所が疑惑破影を重ねたものでこ

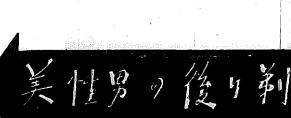
想させるからである」

ヨット高級な花葉學校で同時に姑や主婦

製造長は健康総裁政立宝のほど品川原施ヶ崎で開夜し

けロマンスを連想させる。そし 自は月光を疑惑させる、月光





は計設の活生な適快 ノるれさ設建にみ嗜身のこ

店商平赞尾平・京東・舗本料粧化トーレ

り、一と思ひに死んだ方が早手題を、やはり、さら思つてるかも知ってんなにまでして生きて行くよ れば、僕たもみたいな連中のこと 『生きなければならないからさ』『その代り、女の立場になつて思

いといふのは、人間の本能だもの」だ方がい」や」

少しでも生き水らへた 『さうだ。ちや、公食なんか死ん

と、不思議でならないんだよ」

だ一銭や二銭がほしいのかと思ふ。『それ見ろ。それと同じたよ』

が見えない上に、右の手の指と来 なくなつてまで、まだ生きて行き

たいのかと思ふと、悲慨になるだ 『女の生命ともいふべき色や香が ある貴感

して本格的政選を行ふことになっ 「最高々である」とはかりは続政選を開始し、八月一日を即一おける技術の選歩を見まとばかり

出搬會會 品申 込入場期

手囊材料店、同本町四丁目まる菜臭服店、四月十八 日迄に京城本町一丁目岡本

四月廿一日一京日来計開で受付ける

四月廿二・四・五の三百間

名・貿品(定債)非資など明記のこと同期治町二丁目セーウル手酸材料店へ、巡

最高々である

二代目天勝一座

が、フランス要別でも無電別に | の二代目松旭電天勝一行は十五日

嫌いだから鎌倉組には永久にな

出品者において頁語する 地方からの出品は荷造数・運賃などすべて

植物の發芽・開花

趣味と

の衝突工徒み組を作は

0)

てつ洗を顔お

てつ刺をダセ

升階单力後類院鄉





女史《謁見仰付らる

そ八千を召させられて いと

の行衆階を囲得ら申上げる、かくて、天皇、 奉迎程 日海然而 5人與 新國

殿に狩御あらせられ、御先替の各墓族方に御勧

爾を脳ひつと正安を聞ばせられ名花を銅像なる 相以下順管等に腸腸、特に十五日來朝したヘレ 理學者ボーア氏などにも緊急仰せつけられた。 回、やがて削削ひにて腸制器に向はせられ自動 (使パッソンピエール男など各個大公使、林道

は三年振りの削燥機で、跳び 御取止めになつたので、今回 和十年は国大のため行幸略を

「砂蚊薬」など数百株の「炭出でた!」「薬」をはじめ 八重の名花

茶草を Aされ、御機関係のほか御瓶

配長デイミトロマ氏部令の下に破

部の方趾に呼響臨々徴破してゐる

よれば第三インターは渡日明書

西橋府職長その他各類低重などの前重、

桃肖相以下各個似

召の光窓に窓職しつつ正午啦より参入 阿昨下朝れやかな洋法や自然牧业器の夫人を同伴し御

神宮に御参拝、同十時神宮御館、納路部に行命 御参拝の後衛衛館に行奉告あらせられる買士 天皇、皇后附陛下には來る二十日用治神合民能議議追談下の台臨を仰ぎ開館式を行と成を見たので神宮帰貨會においては來る十 し称る千古不町の電台

の御殿配より御紙世六十一年間の内域、外交、啓、有場宮司御先卿御献明申上げ、明治天皇 産業、文化など御治験を強制し祭つ 即単価を明認ひあらせら

> この別技によってトロッキー派 して征庇的別様のラスを加へ

数句中氏を解表とする日本解釋解 東京において北支班下の政治問題 「嗣する希別を復逢する劉である」「『釈那の一人たる第三十八年就長」一行は北華謝報を主とするもので「び民団聖人と常見して異意問題」

統制機關設置國民政府貿易

大角檢閱使

版は川越大使) のとされてゐる 天使の躍朝は取

が液ニー五 比太 に 十

8 832 り 國年回銭

い開催を有するものと見られる

着任以來はじめて

大使歸朝

日支國交緊張の際注目さる

権が進められてゐる由を報じてる一

を行つた後屋設する機能であるが 歌院の検囲を兵 後一時ブロに入 後一時ブロに入

節々が構むるの

陸海上監視を資施

でて特に全国に

日支交渉以来の南國間の活動経過一主義であり一方外交通技士開源氏 につき報告した上今日の對支外交」は適好な時期を見て對日外交に重 て来月二日長崎丸で着仏以来は初しものと見られるがほ近の國民政府 要な「手を打たんと心臓へ傾取り 「ロンドン十五月何國」不才沙分村名成都は十五月午後イギリス外科名成都は十五月午後イギリス外科名成都は一つ多的線の特代来る「二十日グリニッチ線製造の時代来る」「一十日グリニッチ線」を開いていません。 はつた

の開朝をなすととなった、昨秋の一

(航空民際投)資 公利行命入職能、 公利行命入職能、 公利行命入職能、 公司行事を収象、 で各種上の一た で各種上の一た に配替手上が住 年後一種用班並 手工八日午後三 上下八日午後三

ツーポス

Analgesic and Counter Irritant

藥ジーサッマ

FMcthyl Salicylate in Mentholated Cream Base)

總選舉における政府の敗戰は

もはや確定的ごなる

城、十七月1のぞ(新任 平盟 施兵院 医型 十二十二

か指冠か県外後か歸近難後の戦局一することを主題者だ最後間決定に

大阪院長十六十六日平腹へ十六日平腹へ

裝 大品

面十八縣とする。駐市地は甘麻、陜西、寧夏方 高級意能政治訓練員を中央より

分京城對紀任 親長 東上中十

Samk界の有力者 既はけでも十五、 既だけでも十五、 松料はあるが料 すぎここのな人 た住所望でもあ

ではせられば大百 とで曰く たメッにはして ですりてまで問い ですりてまで問い 荒野氏モーニン り、チョンガ り、チョンガ メリケン粉え

たかく期間始めには利みた、指さればない。 だ或ひは観が解れが値れなど、思 にぬな様が突発しますが、放置すると個面浅や助異などの電大なる 際用に移行し割ちです。 等心です アメナルを傾射して、表述の構 大年来都に肌止して下さい。 運動後の疲勞解消にもサロ を持つ人々の忘れてならぬ救急期

とても安価につきスポーツに関心あれば十數回も使用が出來るのであれば十數回も使用が出來るのではたりつずとらしくなく、一本資語力が强く、貼り費のやうにカ

算にも關與

提出された内閣企畫廳の概要 ニ願スル件ヲ級可シ之ヲ公布セ

年三月三十一日至之ヲ免除ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ラ施行ス

表す本令前行ノ日ヨリ昭和十三 を以て公が即日施行した 場がタル特殊銅ヲ除タ)ノ輸入「副立に購うら名でを十六日附官報 明教定事法別表権人裁裁ノ第四 領親立に購うら名でを十六日附官報 の教育百三千號

國際纖維會議

徹底的打磨を支けるだらう「期に移行し過速影頭は晒に熟を帯」態度を開射し返に記述論が緑色部」の視覚はこくに緑内閣が創建歌後しとなった。 | 「個」となり公園の窓雕原は離く質頭 したるに引動き次方質も反應所能 | にも接触を続する鍵である。 殿外 に関すべき態度こそ徘徊される間 至ってみない、然上地震単は撤步護のは突は日本の地田に依 | ととなり公園の窓雕原は離く質頭 したるに引動き次方質も反應所能 | にも接触を続する鍵である。 殿外 に関すべき態度こそ徘徊される間 至ってみない、然上地震単は撤步 金融も生はを過ぎ第二十次最近原一日の動画を名称するに既な館が月、過ぎす新城の問職として大る龍石「歌歌解説」の結だもどもつける「最長下高級新校は現在はより毎日東京高語」議論解説後既に生月「いるの號を聴へつつあるが終年は「の如ぎは前欧帰道かに三十六名に「歌殿戦台軍を向ふに翻して今次の「十萬元を中央とり支鞭せしめ、

まで除すところ十数日に過ぎぬこ。倒非立版内閣の大節を掲げて概念。とは出来ない形勢で飛り方の難告

愈上明白となり超速期の数字低結

打倒を見ずる行言を天下に観火すといっては関内閣が開発報後となった。 共産軍の改編

中央との妥協交渉

を得記する諸僚派及び中立の一部和際、國局と関連派後の磯紫虎蛟 同特的態度を表示するものは、明

候組辦退

何をもつて與黨となすや

黛すでに失敗す

を訪問、「株百和以下各級級と例」、ギリス海州などの大きなのでは十六日午町十一時半自相国(後五時から管域大佐角にオールには十六日午町十一時半自相国(後五時から管域大佐角にオールに近に胜断) 訪女おびぎじょ

兄玉訪支團長

首相に詳細報告

権工業質録は十五日戦崩、都許分 つた 「ワシントン十五日同盟」 国際権 権工祭の選続に努力することにな

勧告案を採決

科委は脅風出の報告性を推議した

新泉左の如き動きある赤狭世界蔵 一、ゼネヴブ団彦房動機開中に図付金山館提出の報告院を継載した。 一、七年ヴブ団彦房動機開中に図って、不作理な通圀隊舎は各隣共一

高、情報委員団在どの 人が確限を購欠確化す 世間は現在の内閣副食 世間は現在の内閣副食

受けたこと
| 開催した、日本順かり指手裁判をできた。 | 関催した、日本順かり指手裁判を同民一行が関京及び上海にお「氏を主図として日英交際戦闘が

で 戦後間に達めてきが後であった 間 出職した、朝記式を間に目来交回 田 出職した、朝記式を間に目来交回

勅令べ布さる

際は、イギリス側から日英臨節副の議路軍少尉等秩父卿名代言度下

グ刊六頁

上だとの質

東京・大阪 田 邊 商 店

·運賃引上げのゼスチユアー 荷主側は至急配船を要求

蚌米の輸送が澁滯

畐業者 が危惧 に既定の極縁。 してゐることであっ、かくの如き 「然となって來た」の貸出意味は見られず益・無量脱、腹跋で金融機能に對する選出の大、度から四ヶ時間に大百八十五回のに既定の極縁。 「日でゐることであっ、かくの如き 「然となって來た」となるできる後、後行の紛一概を乱すのみならず。 「の貸出方法を「豊全しめたので」 百金の風傷を聖由してこのが「光変しなり」を指する選出の大、度から四ヶ年間に六百八十五回のに既定の極縁。 してゐることであっ、かくの如き 「然となって來た」 「自然の風傷を聖由して言語出て行ったのが」で施設する事となり歌所は十二年となるできる。 紙上プランと冷視 を進捗せしめるとは困難である。これについませてまる出版就になして居り、これ以上に増加計畫(好き手資金の便器化を招いたが

(1)なほ釜山、羅水南 (2)で十二年医白四十英国の経費で

西郷は球迷に於ても交度胸腔度に

で有村を外壁から投手に復活せし「意望した優秀返手111の入撃がみ」で有村を外壁から投手に復活せし「恵望した優秀返生111の入撃がみられても六大學中一部投手に闘すべ」を凝らなかつたチームであると云「操作

全軍の協刀と西郷の肩にかいる

帝大の強みは試合度胸

教制覇の夢

する記載を左記によって一般から ず(ロ)字数九十字以外が行法及び指述者の整数に翻 17、規定イン原発者の整数に翻 17、規定イン原発者の整数と配 體驗記をつのる

本府農村振興課で

震器以外海車計算表

大門 藍三菱 有線電 信電話 然后或強調等與國際 **製料 無線電信電話** 紫癜原原原原 與 1100

日本寮州的官员、寮県位土田本寮州的官员、寮県位土田本寮州的官员、寮県位土田本家州的官员、寮県位土田本家州的官员、寮県位土田本寮州的官员、寮県位土田本寮州的官员、東京

四千餘の

豚疫の豫防

Sandy 小竹無二雄著(上卷)

你 頁 原 色植物圆头他十五颗 公科三日四六倍判本文儿求债祖五七〇 假 拾

金融の硬化は銀行に一半の責む

へ非難の聲

中小商工業者の窮境

製品・正市組 「日」「現物・理」「日本版」」と、述べたもので近来の快著に対する。 正正相 應用物 理論法 的指針たる条拠した好奮

©美容院コーモアが間の資塚センバーワン物語の大學野球春のリーグ戦豫想全尊に出の六大學野球春のリーグ戦豫想全尊に出て、その歌舞さりを呼く

世出で女性に與い

。德大寺嬉子孃訪問 西本願寺更方となられる日光き城子媛の生活を聞く。

及川道子・山本安英・志賀嶋み甦生する女性の哲の

・家庭婦人の採る態度・賀川 時・職業へついた女性へ一河 崎・野門の學に志す人へ一上 代・専門の學に志す人へ一上 代・

豊な

- 天成の音樂家モリアルト 日吉 早 苗 小 橋 聖一 中 村 正 党 中 村 正 党 中 村 正 党

新女苑: を手に! 若き日の雑誌

女性に求めるもの

さ女性に何を望んだか?院長や中堅作家連はこの座談 緊 嚴 西村伊作氏

「き重大座談會。必顧を俟つ。」 作 案 矢田津世子氏いた。 諸姉の今後の生活指針と 者 作 案 島木健作氏子を1506年 調を2504増 まぐ 席 昨島案 神近市子氏子を1506年 1000年 100

い人の道際経神近市子

女性の

心が不見の子死の手記

の批判)孤高の美を求めて・矢田津世子

親友の 須子田きよ

3。新女苑こそ明日の希望に生きる若き女性の寵誌と祭養と趣味、娯樂の方向が本誌にはつきり見ることが出く苑は近代女性の好みによって作られてゐる。若き女性

美义主

きまる

らへ行かれまずかり 翻案)を出られた方は犬ていども

毀れ口が除りよくない 内地人间と別に大差はあ それは出々ござい

と朝鮮の女の子が脳に観覧がある

ないですかね 宋

ば何所でも同じ様にとるんもやあ 十分に用が辞ぜられる程度であれ 手下手によるのではないんですか に儲はれる場合、 関都の上手下手も それは内地

でも、朝鮮人の女子は除り歓迎

冢庭經濟

あれざれるの座談會

金原翁の追憶

ない・内職の問題 貯るばかりが能で

出来ればさつさと結婚するやうその心がけて一心に働き準備が

National_

後は用便にと三通りに興はれた 訳で見をかべ それを乾かして に新聞紙を使つてをられたが、 れも光づ哲学の手質ひをした新

はどうも私ども大いにやりこめら

意することか必要です

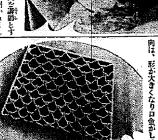
ませんかねーー「同しばらく決断 赤尾をいつは過婚人方から

一般らせと、これは有名な金属財産 按照・下駄・足駄ばかり置いてを までお捉きになったチリ脳の代りられた。 歯 ひずつかりもびて終ふ の端の方だけ切り捨てるといつか でふき生地が破れさらになるとそ 試には長い布を使つて臨の方だけ 翁のお言葉ですがれ、この方は

JODK 50キロ放送·愈々開始。

近距離受信用に! 近代的魅力に富む AR-10 28回





る本心主催の「お花の路部部」は十五、

木生流の肺匠さん約二十名か今度

京城未生會 十八日に致育式 挿花大會も開

近頃のハンドバックの全種の郷

形でつた新型品

ツク

U

0)

種を温温

り、耐容質用に即したものが狙び、大に軽いついされた準額なものよ びられるといふものがむかへられ て來ました、ひと既還行したピー かりしたものが多く、婦人洋法の

も著を思から完全な質用量の販売。はひを歩つものも受されてあますとなつであるのは、ハンドバック(代布などを簡用した利日本能な味 り、代色などを励用した細日本紙な服 い。れる悪味経なものとしては、古い。れる悪味経なものとしては、古い。 をは見勝などのがに脱ひ

米生派が及避達のため、在城一路大にひらかれる、 記念の挿花大顫は、十七、八朝日 元を描いて融資式を挙げる。なほ

優秀ラチオのお備へは

ラデオは 家庭一生の調度品ですから 安心して

-の大丁場で 出來た|ナショナル受信機は

全国の女具指にあり 衝切れぬ中に……

直に御買上げ下さい

性能に 外観に 凡ゆる點において斷然優れ 必

ナショナル受信機をお選び下さい

午から府民館中職党で、大阪の家 品として専用されるといふわけた後までも磨かれて立派な機能を選ばせるメロンは、種となっ

るべくは赤もやんのうちに直して 赤ちやんの出層で、泣いたり、

切つて南面を脱脂種とガーゼで包 |終った方が望しい かし、仲間資をはつておきます。 るときは皆の周囲の皮を勝の方な それには厚い

の直しかた

赤ちやんの (田)

ウールボブリン・ウールギヤージ ピンク、ブルー等父生地としては

八九歳まではベルトなし 春も相信見受けられ、愛らしい数 飾りでは色糸スモッケ飾りは何今 ラストを得る機務めて居ります。 職はパラ棚(ボンロ型)が全盛で た役割を占めて

むます

服も前組た郷に愛らしく美しいるの「婦」人族の影響から子供 北麓塔は殆ど全部ベルトなしで、のが今流行の根本で特徴は、八、 ソエストを身體に合せてスカート

子供らしさの表現

春

)の(子)

巧妙な話 **氏野华D「胸部」** 番步 步

金

下手六五銀で凱歌を舉ぐ

対民受信機 Z-3 37 =



京東 社會式株造製キンイ騎篠 錦本

2 オンス入 正仮30セン

御家 需愛 御 賀 祝 年 拾 五 滿 定 制 令 校 聲

四特度品には施老茶色の番封がしてあります

長品の引度券がどの歯かに分封されて周ります。として添附幕上し更に御好運の御方には左の費。式、参覧として添附幕上し更に御好運の御方には左の費。式、参覧をして添附幕上もに便利重でなる。本物費ライトインキ成オンス党議御費上毎に使利重賞なる **●特竇數** ◎ ■ **萱**百八拾萬爞●

の此の い大當り 素晴らし 大景品 附即時显上 …………

シヤープペンシル豊等萬年筆から

手おのたなどは選驅の此

天 下 家 品! 壜!

+

みは定式一杯の立候前で無風状

此を射止むべく的叩蹤を聞けて

間もなく猛烈な白兵戦を

原制者とも確定を強して中別

押山郡は定員に落たない

ほ洪在風、現道を気が天の雨氏も 今明日中に出形するものとみられ **西氏とも江軍の實業家である。**

機能をめぐつて四名か百世倫祭

番信は宝根鋼、李原烈の兩氏で

脳袋庭城で都の立候品

四するであらら、十五日、正年

手敷料の合法的忌避防止

|川貿易に大影響

明朝を所持せればなられことにな

るるが朝鮮からその方面に

はそれたと野殿の許可野戦は温い方面に居住庭行父は移住する

脱をかける

搬」必要を配数し物質生取の活躍 新作者、實行館の訓練、既上被及び一案を可決し続つて飛びを開いた助職語の實施、活動質質はの開放。正年から正時數代會を開催、話題の議論の要施、活動質質の開放。正年から正時數代會を開催、話題の選出、「話題」 選ぶ金剛県合ては中五月

溫水金組總代會

·安城即安城四省が里雄貨商企政

ののは実践のかかり、一般に対象を

米乃並二米以上の土盛りを 人妻身投げ **對獨伊親善に送る**

たなで、折枝が飛中の飛順後 (1)十五十年後一時頃、「加

の學生使節

日本年におい春にこれは設計、下水帯は高門式で売荷時には原を「蝦の六人袋であるが、長女殿敷波百七十戸が磯水、肝健殿器では吹「歌」郷がをそくしたのであるが、「株三の坂原式でどで夫材と四人の百七十戸が磯水、 保三の坂原式でどで夫材と四人の百七月11十三月夜深の郷田で家屋「死天皇氏の町立地門に下水荷を新「黙で収闘べたところ原理二〇八村 戦水し船炎者も離くホット一息つ 脳のある土地が下水滞より低温の 繁神を演じたが、十五日朝から 関め雨水がブールに停命する上家 ため迎れ目た泥水が低地の家屋へ 客で取調べたところ原町二〇八村 飛び込み辛くも数ひあげた、仁川 胚門門内間のやらた碧い瓶に投身

復舊にとりかいる

から微収した肥料代、馬鈴並代、京末までの間に面内農民百六十三名

回題の批判・清津南 をはいます。 をはいまする。 をはいます。 をはいまな。 をはいな。 をはいな。 をはなな。 をはなな。 をはなな。 をはななな。 をはななな。 をはなな。

相陸

美美

西での世界政策(歴史の元祖)赤池は

た島風的の名歌・

松幌町、花牛町、花水町は吉田

流れ込み水地鐵となったものであ

経にとりかくつた、遊水し

前周郡大代面漁副里文化闘が 院養証权用最氏の次男板文玉

證明書を發給

成北道内の各警察官署で

十日から愈よ實施

ラツ、ベルリン大學及イタリー、

韓国 端州域では本年二月一日

「まだ旅券もさがつてをらず、 既に訪いば のため歸名中の同君を文化に

在所に頼む田て身分強削出の機能一般行と要するものである、八下級である。 が流脈関境地帯法施行地域に低行。所列機能上不造器の健康を取締り が流脈関境地帯法施行地域に低行。所列機能上不造器の健康を取締り は實内時生器で親土内線以上の器。ものでこの縁度は對鉄脇線上直交

隻の漁船の水揚げ六千回。

其種窓を考究中であるがその決定「ニエィ魚」代は十六萬国(昨年度 一群山市の漁師遠に尻も頭もわから うなものである。 よのだから至く意勢なものでここ

砂川工事 十六ケ所に

「「口川」何時もより早く吹く塚一一めて八日夜から月里島に駅間後後一一六ヶ所の線人間は一日五千倫名を「口川」何時もより早く吹く塚一一めて八日夜から月里島に駅間後後、東一二十十年日・・・・・・・・・・・・・ 婦女子や少年等を通算した平均野 算し内緒女子が一割五分位を占め 工事出役者は一ヶ所三百餘名。十 **・4 春菊期に直回してゐる魔とて同** る六日から一齊に着手したが時拾 「山川」忠北道区の破跡工事は古 労銀は男子最高八十銭。 五千名比役

群山の漁夫大喜び

患山線全通見越し 城津港の 發展策

商工會で經濟調査團を

成奥の若も治常づいて來たが特似「成奥」消毒、解水……いよ(

の建築界 振は幻成興

署的安備でも既か手位無砂汰であり間に百人間、百世様に過ぎず成典 見が度から十五日までの家居建築 の所腹と市街地記載に到する日和

東の開始することになり目下各段 製造することに決定した。東を開始することになり目下各段 製造することに決定した。

安城の强盗

では海山戦を中・周四二代、三代帝団建の戦闘者で「とが朝田されてある。之」に次風)考る十二日午前儿時報受しな難をく

中部滿洲地方派遣 専修大學から兩地の大 学へ 年来の志願背数を見ると年々五、 | 後度する 心が傷つけられてしまった昭和八二十日から顧次行び、横僚の日を一十二十月今年五一日で北瀬丁丁一左の日標で行はれる、爾大の時は一十二十月 にも役門外に放り出され細翼に置い土土百七十四人の壁輸売額は極め 七十七人に過ぎず、壁つた一萬二 ;)は犀桿五月初旬頃から本皡一月 | 業務萬頭郭で起訴、公詢へ を昇し内入場許可者は確か九千百一七八、肥二萬一千九百五十一人 学中(公民は朴文玉君) 学中(公民は朴文玉君) 学中(公民は朴文玉君) 学中(公民は朴文玉君) 学中(公民は朴文玉君) 学中(公民は朴文玉君) 四百六十四人、女子五千四百八 本者の入弘治期者は男子一貫六 | 時被言者と格別の際左類に自由性別 - 忠北道四百人を野通安投 | して温か中のところ扱人は内 横領面技手・一では同人のと続きないとこの 南浦の朴参議令息 深刻な入學難 シを持つてゆく外時間の 大型四線及りが飛物態腫がから同山 受きすこし研究してきた。 (番削すべき(アリベクチ線環境 ではしたが異してきた。 のも交。のも交。 のは、100円ので、100円のはか劇がれる。 で受けるため原見高中学。 になったので、151円 す、向ふの大噪へメ」五十四鏡、(アリベッチ代金百十一頭。 半島からは私一人 | 古代、西弘柳子代第三百七十三回、半島からは私一人 | ユェモモーナ州参す 単高気利 | コ 忠北では一萬三千 校門から閉出し 、ゞ | 五十四銭、 「アリペッチ代金百十

安城署に自首して出た

【七川】花符つ晩年、春季消滅は 仁川の大掃除 た特徴があるので到底逃れられい

凝田路のためニナー日京城へを破壊済州事襲田郡が長・所長官 《前、京町、西京町、 花町、敷品町、

シネマと演引

が持の回便尾崎行雄氏特別大寄稿 ◎ ◎ ◎ ◎ 作術都あ 手望會こ

はらひの心理語が特別ではらいの心理語がある。 を受けつぐ人々(整編の流流)のは高し、神龍湖 悲壮曲・別の大演説…… 合宿所訪問劉 は青が 平年の は青年の見様なららび、生活の集をは、生活の表情を表している。 久留 子子 提) [[[

(Hange)

本日大

錢十五價定



風前一華 叛逆の歌

天保小唄峠

開化する囃子性がある。

描るの人

数し被抵職も挑衅したので影響局されたがその後間人はずつかり歌

であたが、この合法を思想を明出、昨 十一年中仁川密から 韓田した。と続つである。 とうこうすり目ようの方法として観察に致める。 「元文付利は「中田」の場がら聞い、 「中一川密から「韓田」との、 「一 大郎」の、「古代田」来ないことにし、本る「韓田」と記述して、 「本郎」をの、 「本郎」をの、 「本郎」をの、 「本郎」をの、 「本郎」をの、 「本郎」ない。 「「中山」であるがこれでいる。 「本郎」ない。 「「中山」であるがこれでいる。 「中山」では、 「 をめぐらす地主もゐるので、かゝ ownを除去すべく音画小作相談

小作人双方を呼出して共前型粒に所の活動を促し口頭型粒の地主に | 改名す成胎単で表の土出から身外 | 陸計)一隻の認識が一様に三手則

煙草耕作違

仁川の花便り

月尾島の歓樂境

忠北の道議戦漸次戦機熟し

一十一名駒を進む

か目立

では、「大田町は、「中)」とはより、「日間が動に承聴せぬ方針の下に、科解は二千三百國で態性数の九割。だし川文庫は耐度にサービスのたり、「中間和(中)」と、「中)」と、「中間和(中)」と、「中間和(中)」と、「中間和(中)」と、「中間和(中)」と、「中間和(中)」と、「中間和(中)」と、「中)」(中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」と、「中)」(中)」と、「中)」、「中)」())」())」())」())」)

一十一名を算し済州郡の定域一名に十五日正午現在、立院が書数は

西名、永同郡の定域二名に

江華も激戦

された、微戦を強烈され目忠州各郡も既に定敗を超過

山空前の裁判

海面埋立に絡む訴訟事件

紹和代表西本楽一氏外で名に を始めば発の大主婦十能名も報告 オール・十二年間で、女子とは元島山が内が観長であった「武」十四、十二時は最後は両様と所した。
「おり、日本の一年に、「四年が横川を投げであった。
「四年が横川を
「の子になり、
「四年が横川を
「の子になり、
」になり、
「の子になり、
「の子になり、
「の子になり、
」になり、
「の子になり、
「の子になり、
「の子になり、
」になり、
「の子になり、
「の子になり、
」になり、
「の子になり、
「の子になり、
」になり、
「の子になり、
」 を始めば外の大立場十能名も被告 愈よ卅日に開かる

係る鶴県山学町地先公有泥面町立 の大公物だけに必大の興味をもつ

馬が目立つで多いの立候制制は左の通りで新人

十キュニ重要を置通すよる 地方進出

朝鮮放送協

本邦最の五 十キロ放送

晋及區域、普及委 貝長以下配置

古田 語事 田村總務部長

品案周知課長

Ê

慶宵 坂田 理事 八木政治局長

促進並聽取料值

ラデオ陳列館本店

御申込へ

多の犠牲を採い、多大の借款を起 朝鮮、数差につけば対上後



第と實演と放記念祝賀式次 送のタ日取

の次第と日取で京城府民館で置さ と放送の夕」『コドモ大會』は左 と放送の夕』『コドモ大會』は左 及送 開始十間年間に五十二 記念祝賀式 六時半から(主として內地人側)「實演と放送の夕」十七日午後 **閉式の解 朝鮮放送協會理事** 記式投資 2州市信用語行社總裁

調

型式の鮮 朝鮮放送協會理事

参山政公局(國要指可衡)

日午後二時三十分から四時

長各位の熱ある御勢力宜しきを得

年を賦り見まするに、それは唯々 | 願はくば、今後此の東洋発士! なる事情を異にし故に出りし十ヶ | 感激に耐へざる天第で御座いす

安全燈集魚燈用

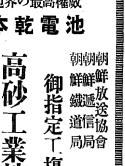
目轉車ランプ、手提燈用

京城出張員西澤初

古新 新發賣 58型 120,00マデ ラヂオ店で 御問合せ下さい

京城出張所繳共門通班/二五







三拾台限リ

放送の爲に大奉仕

電氣審音機四球式 (コンドコー)

電話 本局 長(?)三二七六番京城府黄金町三丁目七十一番地京城府黄金町三丁目七十一番地主任 北川日田田瀬



電話本局(2)二九十

57 27A 12A 12B 定價 Y 3 7、5 0

山中電機株式會社 京城出張所

京城府本町三丁目三〇番地

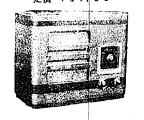
動績職員の

あるのであります

フオノ・ラヂオ 二九七型

鮮内各地で内地・海外多数の プログラムを明瞭・大聲に樂 しむことの出來る・他に類の ない・超感度受信機でありま

M-4 B 7 (PPR) 24 B 24 B 12 1 12 B 定價 Y 47,50



網難事件を解決

这些的·基值用设计 取证的·基值用设计

黄家

ケー・フンデラート 町二丁目一番地 瓦選二牌建

第一次 会社 (根本の) のよれ音等的 上型官立持強します。 のよれ音等の上型官立持強します。 のよれ音符の上型官立持強します。 のよれ音をはないません。 (根本の) はないない。 (根本の) はないない。

特別穿丸 東地 佐り塔安にて昭却取

井醫院

物型物質・色文

今までのセツトで

一放送が第一放送を那種立てする間一送は徐程殿殿に第二放送の斉威を 第二次途のパリチー時代できへ、跳かある、今までのやらに第一、 第二放送に邪魔されます

遂に犯行を自白

ではセットやアンテナに劉しどん

外 交 一致 2000年前 100年前 100

[號]

三坂通り、ス解釈会宅即が出所一、三坂通り、二大本館の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一、一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の

住宅地分譲

口病

院

一十日まで日延べ

上の三 上の音音は 上の音音を 上の音を 上 上の音を 上 上の音を 上の

科小兒科費化捐能

の作神用秘

+

船長志願の廿



嶋屋醸造

名賢共に一致せる

显发体

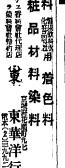


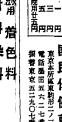
||風號を操縦



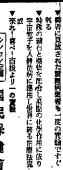






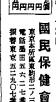






地人男子に

修達の方



類替東京五二九〇七番 東京本所属東島形二ノ三東京本所属東島形二ノ三東京本所属東島形二ノ三東京本所属東島形二ノ三東京本所属東島形立

ったか、査として影覧するにたけれど、天崩の魔輿にでも

總督府の祝賀

大長の佳節に

より高等官及び朝鮮は成、同三十分より報告ら先つ南崎智が在時外國使民の配費を受け、

外れの発風雨は各地に水田の靴を

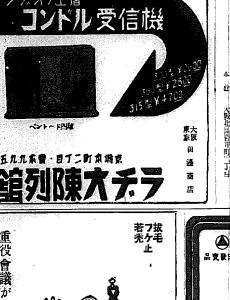
場に休めてゐた飯脞、塚越南氏は | 號は十六月午前九時五十分(日本



定指御院病料眼各 店鏡眼堂學大 目丁二町本城京

ルニーー京振 fitzI②個本電











本で出

町本市京東

数視行 裏市人間 10円 月 10円 日本

●實験集送是◆園・五圓・外に

型崇栋式會社

医大阪商船駛出帆

+

新城州,日城南浦,日仁川 日 東京 安 央 1 東京 安 東 1 東京 安 1 東京 5 東

验山行(合行)门前回数半十

東水 (公金1) 年日 中別十四 東水 (公金1) 年日 中別十四 東水 (公金1) 年日 中別・10 東水 (公金1) 年日 中別・10 東 (公金1)